



湘北短期大学の SDGs について ご紹介するニュースレターです

～発行者からのお知らせ～

今年度から、Web サイト湘北 SDGs を開設し、授業や大学全体の取り組みを紹介しています。

ニュースレターでは、Web サイトに掲載した記事の中から、学科の授業や部門ごとの活動を、カテゴリー別にまとめて紹介していきます。

今後とも湘北短期大学は地域に根ざした教育機関として「Think Globally, Act Locally」を合言葉に、社会課題の解決にむけて持続可能な未来の創り手を社会に送り出していきたいと思います。



Web サイト湘北 SDGs ↑
最新のニュースは「取り組み」から、第 1 号から第 7 号は「ニュースレター」にてご覧いただけます。



湘北 SDGs

Think Globally, Act Locally.

2023 年度 第 4 号

(通算第 10 号)

今回の発行人 築瀬千詠

yanase@shohoku.ac.jp

学校法人ソニー学園 湘北短期大学 生活プロデュース学科

〒243-8501 厚木市温水 428 TEL:046-247-3131 FAX:046-247-3667

【授業紹介】「生活と SDGs」通学路から世界の教育を考える

(2023 年 6 月)

「生活と SDGs」(生活プロデュース学科 1 年 必修科目)では、映画「世界の果ての通学路」(2012 年仏)を鑑賞しました。この映画は、ケニア、アルゼンチン、モロッコ、インドで暮らす子どもたちが、険しい道のりを徒歩や馬で通学する様子を記録したドキュメンタリー作品です。厳しい環境下にあるからこそ「教育が未来を拓く」ということがわかります。



湘北の 1 年生たちにはどのように映ったでしょうか。受講生の学びと振り返りを 2 つ紹介します。

「世界には、学びを得るために日々 22 km、4 時間かけて学校に行ったり、野生動物がいる道を通って、常に危険と隣り合わせの状態です。学校に向かう子どもたちがいるということを知り衝撃を受けた。過酷な道を通ってでも勉学に励む子どもたちに胸を打たれた。インドの少年は『僕より頭の良い女の子は親に学校を辞めさせられた』と語っていた。学ぶ権利があるのに貧困などを理由に、学ぶことを諦めざるを得ない子どもたちがいることは重大な問題だと感じた。質の良い教育を受けることができれば、子どもたちは将来安定した収入を得ることができ、SDGs 1 の『貧困をなくそう』を解決できるだろう。」(S)

「子どもたちがより良い教育を受けられれば(目標 4)、学びを活かして仕事を得ることができる(目標 8)、それにより産業や技術革新の基盤を作ることへの貢献にもなる(目標 9)。また、仕事をする事で収入を得ることができれば、生きるのに必要な水や食糧を得ることができ(目標 2)、健康と福祉にもつながる(目標 3)。そして仕事を得た子どもたちが地域の活性化に貢献できれば、安全な水やトイレが普及することにもなり(目標 6)、海の豊かさや陸の豊かさを守ることにも繋がる(目標 14、15)。1 つの目標を達成すればまた 1 つの目標に繋がるこのサイクルをうまく活用して、問題解決に繋がってほしいと思う。」(R)

1 年生は、湘北に入学してから 3 か月が経ち、学生生活にも慣れてきた頃です。私たちには想像できないような過酷な環境下にあっても、瞳を輝かせて、「将来、人の役に立つ仕事につきたい」と夢を語る海外の子ども達の姿を見て、学ぶ意義についても深く考える機会となりました。(生活プロデュース学科 築瀬千詠)

【授業紹介】ドキュメンタリー『命の水』中村哲医師の取り組みを見て気づいたこと (2023年7月20日)

『メディア論A』（リベラルアーツ科目、2年生選択科目）の中で映画の記録性や作家性・普遍性などを概論した後、ドキュメンタリー映画『アフガンに命の水を』～ベシャワール会26年目の戦い～を視聴しました。2003年から6年をかけ全長24キロの用水路を開いた中村哲医師。日本人青年たちと延べ60万人のアフガン人と協力しながら、戦乱と干ばつのアフガニスタンの乾いた大地に水路を作り、水を潤し田畑を作った記録です。

学生たちからは「中村医師の志に感動した」という感想と同時に「水は生きる上で大切なものだ」と改めて知った。「蛇口をひねれば水が出る日本は恵まれている」「戦争や紛争が、人々の生活を破壊し、水や食料を得ることも難しくしている」という声が寄せられました。

『SDGs』という看板を掲げた授業ではなかったものの、人が生きる上で何が大切か、戦争や紛争が普通の人々の生活を破壊すること、持続可能な社会の実現のためには平和を守ることが大切であることなどを、学生自身が気付いた授業となりました。

(リベラルアーツセンター 非常勤講師 鈴木裕美子)



【授業紹介】湘北ボッチャ始動します！ (2023年7月19日)

2023年度から湘北短期大学のさまざまなスポーツ関連科目にアダプテッドスポーツの「ボッチャ」が導入されました。今日は、小泉ゼミ（生活プロデュース学科 2年生）で、用具のセッティングやチェックを兼ねて、みんなでボッチャを実施してみました！ゼミ生は今回全員ボッチャ初挑戦でしたが、みんな夢中で楽しみました。スポーツ関連科目では、ボッチャの実践を通じて、身体能力や年齢などに関係なく誰もが楽しむことができるスポーツについて、理解を深めてもらいたいと考えています。次回は、後期開講の生涯スポーツと健康Ⅱの授業で実施する予定で、今からワクワクしています。（生活プロデュース学科 小泉 綾）



【学内の取り組み】地域に開かれた図書館を目指して～おやこ図書館～ (2023年4月1日)

湘北短期大学図書館は、2023年4月から「おやこ図書館」を毎週土曜に開いています。蔵書の絵本は約8,000冊、紙芝居は約1,000冊。その教育資源と施設を活かし、地域貢献として始めたもので、保育学科の学生の学びを实践する場にもなっています。図書館は卒業後も利用でき、保育士や幼稚園教諭として巣立った後も読み聞かせ用の本を探しに訪れる卒業生がいるほか、中高生向けの利用開放「夏のオープンライブラリー」やオープンキャンパスで興味をもった高校生に「ビジターカード」を配布し、自由に見学・閲覧できるなど、幅広い世代と地域に開かれた図書館を目指しています。（図書館）

